

2017 年度（第 49 回）倉田奨励金 募集要項

日立財団は、科学技術の振興を通じて社会課題解決と経済成長の両立を図る Society5.0(※) 実現に貢献することを目的に、自然科学分野あるいは自然科学と社会科学の融合分野で基礎的・応用的研究を行う研究者に研究助成金を交付します。

(※) Society5.0: 内閣府における「第 5 期科学技術基本計画」内で使用されている言葉。狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く新たな社会を生み出す変革を科学技術イノベーションが先導して形成するもの。

■助成対象者

国内の研究機関（博士後期課程を有する研究科、同研究科に係る学部、または文部科学省科学研究費補助金を申請することができる法人）に所属する研究者を対象とします。ただし国籍は問いません。

■助成対象分野

1. エネルギー・環境
2. 都市・交通
3. 健康・医療

上記 3 分野における、社会課題の解決に資する**自然科学の研究**、および**自然科学と社会科学の分野横断的、融合的研究**

※各研究分野の詳細については、本要項 4 頁目の分野分類表をご覧ください。

※申請にあたっては、科学的、技術的意義と解決される社会課題を明確に記載してください。

■助成金額

1 件あたり 1 0 0 万円程度（上限 3 0 0 万円）

■承諾書の提出

所属機関長（総長、学長、研究科長、学部長、理事長、研究所長等）による奨励金の応募と奨励金による研究の承諾を必要とします。

■研究期間／使用期限

原則 1 年で 2 年を上限とします。

■助成対象となる費用

研究目的を達するための直接的な経費。ただし、以下に記載の費用は対象外とします。

- ・所属機関の一般的な研究環境の整備のための間接的な経費
- ・代表研究者、および共同研究者の人件費

■報告の義務

助成期間（原則 1 年）終了後、研究報告書と会計報告書を提出いただきます。提出された研究報告書は「倉田奨励金研究報告」として当財団のウェブサイトに掲載いたします。

また、助成期間終了後、「研究報告会」等で研究成果の発表をしていただく場合があります。

■選考方法

以下の6名の委員から成る選考委員会を設け、選考の上決定いたします。

選考委員長

大西 隆 日本学術会議 会長、豊橋技術科学大学 学長

選考委員（50音順）

小豆畑 茂 日立製作所 フェロー

佐久間一郎 東京大学大学院工学系研究科 教授

城山 英明 東京大学公共政策大学院 教授

須田 義大 東京大学生産技術研究所 教授

矢部 彰 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）ユニット長

（選考方法）

選考委員による、下記評価項目の個別評価をもとに、選考委員会での合議により助成対象を決定します。

（評価項目）

- a) 課題の社会的重要性
- b) 独創性、革新性
- c) 学術的意義
- d) 研究計画の実現性
- e) 経費の妥当性

■応募方法

電子申請による公募です。郵送での受付は行いません。

【応募書類】

- (1) 申請書（研究計画書）
- (2) 承諾書
- (3) 審査の参考となる申請者の発表論文（3報以内）

【申請の流れ】

Step1 応募書類（1）、（2）の入手（倉田奨励金申請方法ページよりダウンロード）

申請方法ページ

www.hitachi-zaidan.org/works/environment/kurata/application-method.html



Step2 申請登録フォームに氏名とメールアドレスを入力の上送信
返信メールで受付番号と申請専用ページをお知らせします。

申請登録フォーム

www.hitachi-zaidan.org/works/environment/kurata/application-regi.html



Step3 応募書類の準備

申請書…項目 A～P を 4 ページ以内に収めてください。

項目 Q_論文リストの枚数制限はありません。

承諾書…所属機関長、または所属部門長の承認印を押印してください。

参考論文…審査の参考となる申請者の発表論文を 3 報以内で用意してください。



Step4 応募書類を以下のファイル名、データ形式で保存してください。

ファイルサイズは合計で 10MB 以内に収めてください。

| 書類名 | ファイル名 | ファイル形式 |
|-------------|-------------|------------|
| 申請書 (研究計画書) | 受付番号_申請書 | PDF またはワード |
| 承諾書 | 受付番号_承諾書 | PDF |
| 参考論文 1 | 受付番号_参考論文 1 | PDF |
| 参考論文 2 | 受付番号_参考論文 2 | PDF |
| 参考論文 3 | 受付番号_参考論文 3 | PDF |



Step5 Step2 でお知らせした申請フォームに必要事項を記入し、応募書類一式を添付のうえ送信してください。

■応募締切

平成 29 年 9 月 20 日 (水) 24 時 (電子申請システム閉鎖時間)

■助成決定

平成 30 年 1 月 (結果通知の送付: 1 月下旬～2 月上旬)

■贈呈式

平成 30 年 3 月 1 日 (木) 14:30～16:30 (於、東京都千代田区 経団連会館)

■助成金振込

平成 30 年 3 月の原則 1 回

倉田奨励金の応募に関する問い合わせ先

〒100-8220

東京都千代田区丸の内 1-6-1 丸の内センタービル 12 階

公益財団法人日立財団「倉田奨励金」事務局

TEL 03-5221-6677 FAX 03-5221-6680

e-mail kurata@hdq.hitachi.co.jp

以上

＜倉田奨励金募集要項：分野分類表＞

次表は、社会課題解決と経済成長の両立を図る Society5.0 実現に向け、応募者が自己の申請課題が何れの研究分野に最も適合するか判断する際に役立つ様に各分野の内容を例示したものであって、倉田奨励金の対象となる研究分野を網羅的に記載したものではありません。

自己の申請課題が次表の例示項目に完全に一致しない場合には比較的近い一分野を指定してください。

| 大分類 | 小分類 | |
|----------|-----------------------|--|
| エネルギー・環境 | a. ヒトと社会 | 生態系サービスと生物多様性、人為的災害の環境影響低減、通信・ネットワーク環境、ロボット・人工知能と労働・教育環境 |
| | b. ナノテクノロジー・材料 | 太陽電池、人工光合成、燃料電池、熱電変換、蓄電デバイス、パワー半導体デバイス、グリーン触媒 |
| | c. 高品位エネルギーの安定供給 | 分散型電源と再生可能エネルギーとの融合システム、エネルギーネットワーク技術 |
| | d. エネルギー効率の高いサービスの提供 | ネットワークとビッグデータの活用、需要側資源を活用したエネルギー需給マネジメントシステム、次世代交通・運輸システム、スマート生産 |
| | e. 持続可能な生産と消費 | 製造業におけるグリーン技術（ゼロエミッション、環境配慮設計）、開発途上国による循環型技術（小規模バイオガス化装置） |
| | f. 観測・計測とその情報に基づく環境管理 | 地球規模の環境モニタリング（リモートセンシングと実測）、環境情報基盤の整備と活用（ユビキタス情報、環境ビッグデータ、GIS） |
| 都市・交通 | g. ヒトと社会 | 自動運転、都市化と生物多様性・環境負荷 |
| | h. 持続可能な人間居住 | 都市・地域計画（コンパクトシティ、インフラ管理、とその管理、開発途上国の人間居住と適正技術 |
| | i. ナノテクノロジー・材料 | 構造材料（金属系、複合材料）、水処理用分離膜、高温超伝導、センシングデバイス・システム、放射性物質除染、減容化 |
| | j. 社会インフラとビッグデータ | 交通、防災など |
| | k. 次世代モビリティ技術 | 土木・交通工学、機械・車両工学、情報・通信工学等の横断的な技術とその管理、道路・鉄道・公共交通、都市計画・設備等 |
| 健康・医療 | l. ヒトと社会 | 再生医科学に伴う倫理的、法的、社会的課題、医療におけるケアの高度化、レギュラトリーサイエンス、個別化医療、健診・健康管理 |
| | m. ナノテクノロジー・材料 | 生体材料、ナノ薬物送達システム、ナノ計測・診断デバイス、ナノイメージング |
| | n. 次世代基盤技術 | 生体イメージング、トランスオミクス（統合オミクス解析）、マイクロバイオーム、ライフサイエンス分野におけるビッグデータ |
| | o. 再生医療 | 再生医療用材料 |
| | p. 医療・介護・福祉機器 | 医療におけるICT活用、ロボティクス |

* 個人情報の取扱い

皆様からお預かりした個人情報は、倉田奨励金に関する手続き全般（選考・結果連絡、奨励金の贈呈）のためだけに使用いたします。皆様の承諾なく第三者に開示することはもちろん、その他の目的で利用することは一切ありません。